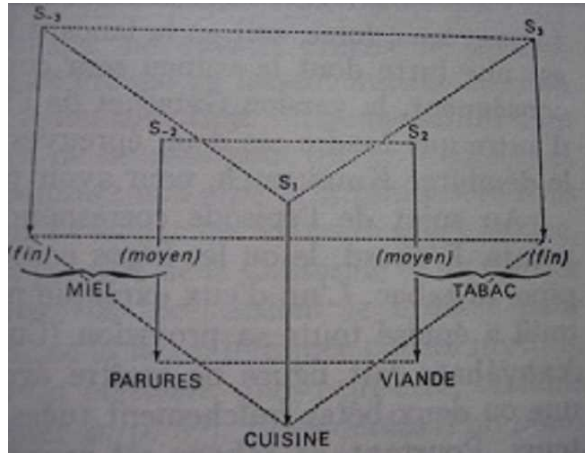
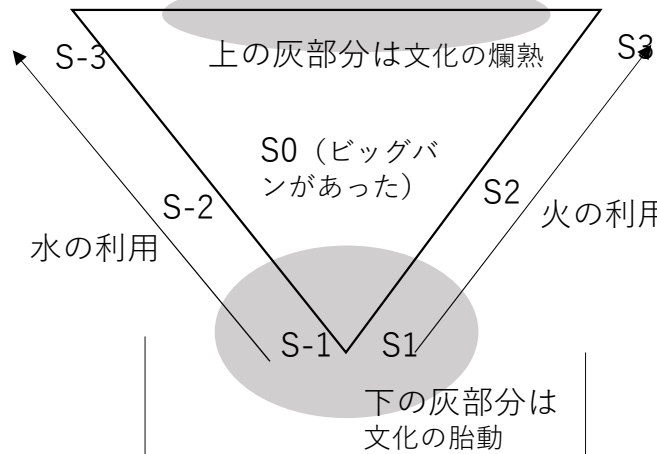


神話システムの骨格

構造主義の視点で解析 1/3



上三角は思想



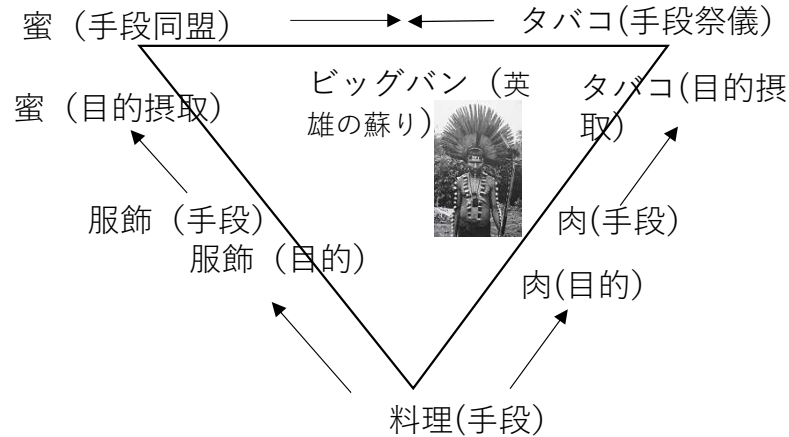
S=システムは思想
 新大陸先住民、南北で共通の神話思想
 神話骨格の上部、「メタ神話」

- 1 S0ビッグバンを（部族民解釈で）設定した（原図にない）
- 2 S1 (-1) はコトの発端（火の取得、水の形成）
- 3 S2(-2) は発展（S1を手段として目的S2が取得される）
- 4 S3(-3)はS2を手段として取得される

神話素材が発現する位置、
 素材の形態で変容はあるが意味（proprietes）は同等、
 神話骨格の下部、表現としての「神話」以下、南米神話を当てはめる；

- 1 S0ビッグバンで英雄（写真ゴロロ族酋長）蘇り（M1神話など）
- 2 文化胎動は料理手法の獲得（火、水、狩り道具）
- 3 料理を手段に目的の肉を得る
- 4 肉はより上位文化のタバコを得る手段となる。タバコは同時に上位文化（爛熟）を得る手段でもある。
- 5 同様の行程が水を巡り展開する

下三角は形式

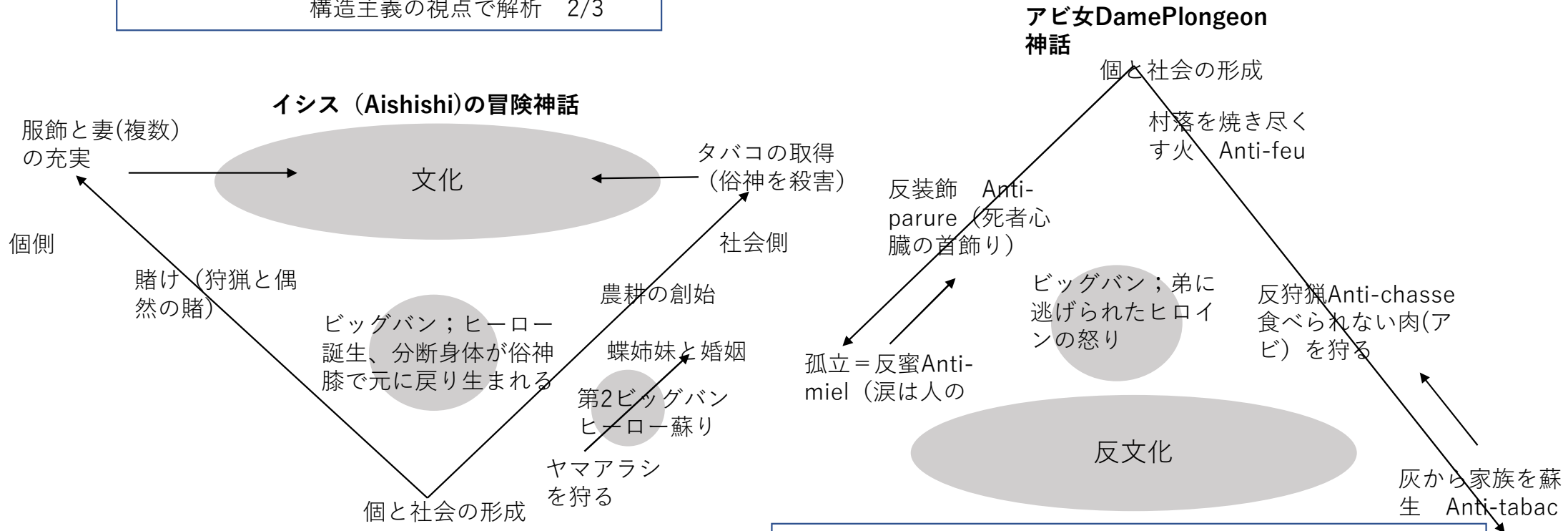


上図(Armature du systeme incluant le mythe de reference神話システムの骨格、裸の男87頁)

- 1 図は ではない、 である
- 2 矢線が2本上から下を示す
- 3 上三角のSはシステム、下三角のcuisine, viandeなどは神話の素材（protagonistes）である。

神話システムの骨格

構造主義の視点で解析 2/3



イシス神話とアビ神話 1

- 1 火と水による文化発展、この概念は希薄
- 2 個と社会の形成とした(部族民通信の解釈)
- 3 2の潮流には形成方向(ベクトル)が見られ、3段階目で文化(反文化)に閉塞する(イシス)
- 4 イシス神話は文化形成に向かう、アビ女では文化否定に向かう

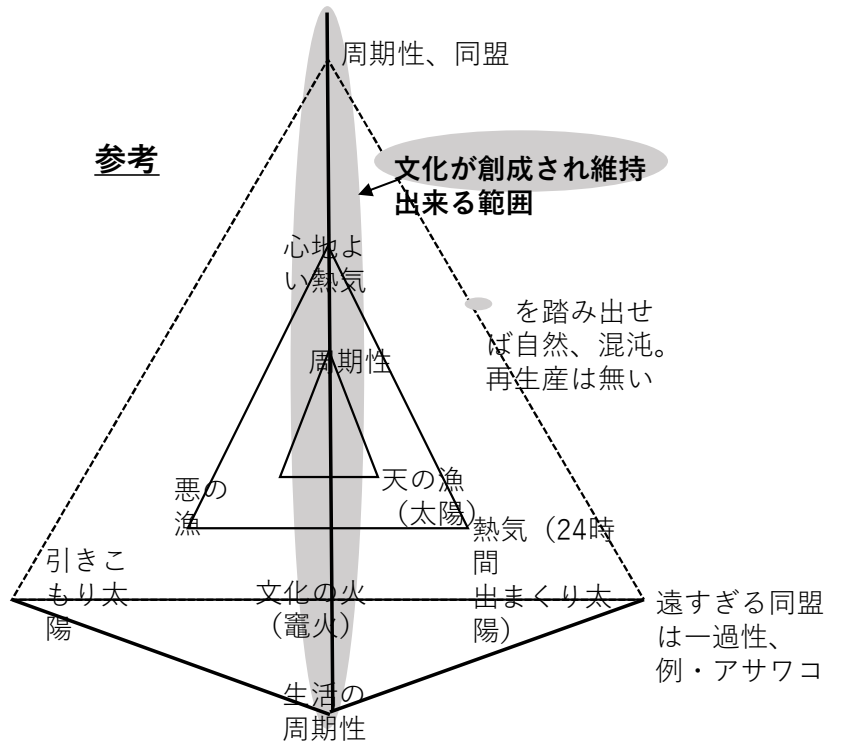
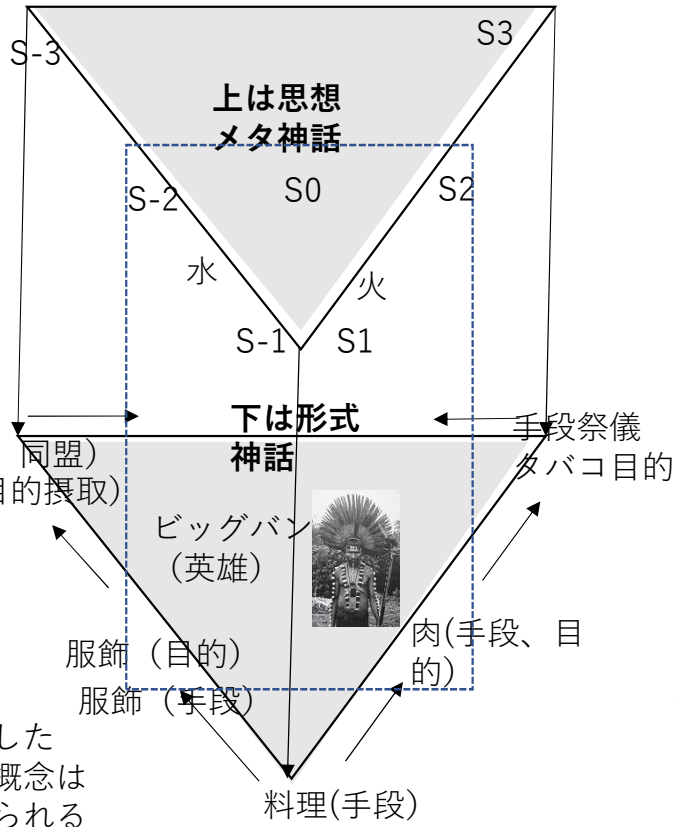
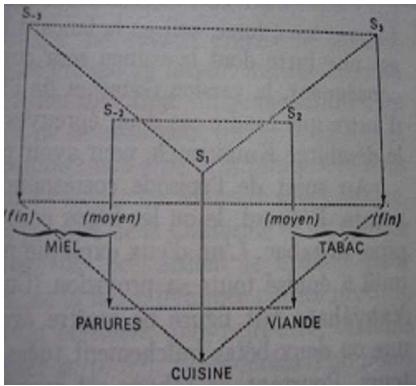
イシス神話とアビ神話 2

- 1 個の充実と社会形成の方向性を文化に向ける(イシス)。
- 2 個と社会のベクトルを反文化に向ける。非装飾、個の孤立、村落の破壊、反狩猟など。
- 3 反文化は三角に閉ざされず、灰(お骨)から死者を蘇らせる、息子を閉じこめるすなど、旧社会への回帰とベクトルの反転が明確である(2,3はアビ)。

神話システムの骨格

構造主義の視点で解析 3/3

- 1 「食事作法の起源」掲載図（右）を参考に置いた
- 2 システム解析図（左）は文化の弁証法的発展
- 3 食事…（右）は分析思考からの文化の説明、共時的条件



L'Origine des Manieres de Table 食事作法の起源
を説明する (117頁図)

神話システム解析

Armature du systeme incluant le mythe de reference 神話システム 蜜 (手段、同盟) 蜜 (目的摂取) の骨格、裸の男87頁

- 1 下三角は南米神話を規範とした
- 2 北米神話には「火と水」の概念は希薄ながら、2方向発展は認められる
- 3 アビ女神話のベクトルは反転（反文化に向かう）しているが、これも下三角の一形式とされる（反転）
- 4 破線の四角内が文化定位置